

【第4回（仮称）「平戸観光交流センター（レストハウス）」整備活用検討委員会会議概要】

1. 日 時

平成29年6月29日（木） 午後1時30分～午後3時30分

2. 場 所

平戸市未来創造館 1階ホール

3. 出席者

（1）委員

西岡 誠治（委員長）、山本 芳久、神田 全記、中田 洋、道添 直徳、フロライク レムコー、
木村 孝市、前川 栄治、古賀 義浩、小楠 一二三、小高 理恵 計11名

（2）行政

議会事務局…白石班長
（事務局）

文化観光部…松田部長 観光課…藤田課長、田中主任主事、奥村主任主事

（3）傍聴者（記者以外）

市議会…山内 政夫副議長

4. 議事内容

1. 開会

2. 議題

（1）検討課題の確認及び市議会の意見報告について

○委員長

- ・前回会議は4月の末で、2カ月が経過しているが、この間、市の中では議会においてこれまでの検討委員会での検討内容について検討がなされたと伺っている。
- ・前回会議の最後のところで事務局より、産業建設委員会の所管事務調査で、観光課から議員の方々にこの検討委員会の進捗をご報告されるというお話があった。本日は市議会からも山内副議長がご参加されており、そういった議会とのやりとりについても報告がある。
- ・本日の会議では、5つの機能「カフェ」、「子供の遊び場」、「持込飲食・休憩」、「多目的スペース」、「土産物・特産品販売」について、これまでの検討の中の課題や市議会のご意見の報告を踏まえながら議題に沿って議論を深めていくことになる。

□事務局

- ・会議資料①「前回会議を踏まえた検討課題及び市議会産業建設委員会所管事務調査等における議員意見」について説明。

○委員長

- ・当委員会にも市議会よりお二人の議員に参加頂いているので、事務局の説明で間違いがなかったか、補足等いかがか。

○議会選出委員

- ・資料をご一読頂ければ所管事務調査の内容もわかるかと思う。
- ・これは、あくまでも議員個人、個人の意見であり、産業建設委員会として、まとめた意見ではない。この点を皆さん十分ご理解頂き、今後の議論についても、皆さんのご意見を参考にしながら整備方針の決定の方に進めていきたい。

○議会選出委員

- ・委員が言われた内容とほぼ同じであるが、産業建設委員会の中での雰囲気としては、この検討委員会も3回の議論を経て、大詰めを迎えつつあり、細かい部分から詰めていくよりも全体的な建物自体のことから検討を本格的に進めてはどうかという意見も含まれたかたちでの産業建設委員会での協議だったかと私は認識している。

○委員長

- ・お二人の委員から補足頂いたが、この件について他の委員の方から、確認したいご意見、ご質問はないか。

○委員

- ・個人的には、レストハウスの立地で見ると、外から来られる、観光に来られる方に対して何のメリットがあるかと言えば、観光案内と物産販売だけ。
- ・今のレストハウスと変わらないのか、あるいは逆に事務的、様々な情報発信は観光の立場から言えば観光機能が落ちる。
- ・列挙されている4機能に対して皆様のご意見というのはわかるが、この場所であれば、この場所を利用して、他県から来られる方のビジターセンターのような計画はここしかないと思う。
- ・観光協会の件で、ちょっと残念だったのは、今以上に、これからどんな風にして…今の状況をこういう風にして、こんな考え方で…というのがあるのかと思ったら、なかった。
- ・ただし、せっかくレストハウスがある場所で、ロケーションもよく、今後建物も変わる際に、そこに観光協会の事務所がある、ないは別にして、この拠点を外から来られる方に対して、もっとアピールほしかったと思う。
- ・これが私の意見だが、皆様方のご意見や機能を否定するものでは決してない。やはり未来創造館、あるいは公民館を利用される方を補完する今のコンセプトになっているんだということで私も思っ

いる。

○委員長

- ・やはり観光面から言うと、この場所の価値を底上げするような機能が良かったんじゃないかというご意見か。

○委員

- ・議員にお聞きしたい。先ほど「子供の遊び場」がいないんじゃないかという意見が出たと聞いたが、今度、戸石川の離島センター跡地に公園を造ろうとしているからいないとの意見だったかと思う。ここで議論されている室内での遊び場という考えの前提は議会の中で考えてもらったものなのか、もしくは、“ただ公園ができるからいない”と言っているのか、お尋ねしたい。

○議会選出委員

- ・産業建設委員会の中では、屋内、屋外の話は議論になっていない。

○委員

- ・産建委員会の意見の中で、「多目的スペース」の用途については、文化センター中ホールもあるので、まずは既存周辺施設を活用すべきとの意見があるが、議会ではこの既存周辺というのはどこまでのことを言っているのか。

○議会選出委員

- ・基本的には文化センターを中心にした施設というふうに私は理解している。

○委員

- ・今回頂いた議会側の説明で、あくまで資料記載の議員の意見は“個人の意見”という説明だったが、次回会議、またはこれからの会議の中で議会としてまとまった意見は出てくると考えて良いものか。
- ・それとも議会の意見も加味し検討委員会の中でまとめていくという意味合いなのか。
- ・極端に言うと、次の会議で“まとまった意見はこれです”という産建委員会としての意見を頂けるものか。

○議会選出委員

- ・そういう認識ではなく、あくまでもこの検討委員会がメイン。
- ・あくまでも検討委員会の流れに沿ったかたちでの協議となるので、その辺りは議員の意見としてこういうものがあったということで。

○委員長

- ・検討委員会の議論の方向性を確認したうえで、議会として議会内の感触を諮って頂いたということか。

○議会選出委員

- ・はい。

○委員

- ・議員意見で平戸に見合った、身の丈に合った施設・機能整備が必要とあるが、どの程度のどういう風な規模を議会では検討されているのか。

○議会選出委員

- ・身の丈という文言が入っているが、これは正直、中身については精査していない。
- ・私が思うには、市の財政状況や施設のランニングコストを含めての判断の中での「身の丈」という言葉の表現ではなかろうかと思っている。

○委員

- ・2カ月の間にこれらの機能を造って良いのか自分の中で少し迷いがあった。この議論はゼロベースからだが、初会から機能の話になってしまい、建て直すのが前提になってしまっていたように感じた。
- ・初会で確認していなかったという自分の反省点があり、議会の方針を含めて皆さんがここに建物を建てるということでいいのかどうかを…話を元に戻して申し訳ないが確認しておきたい。

○委員長

- ・この件は一旦、事務局に。この会議の“そもそも論”に関わること。
- ・そもそも、この建物の建て替えというものを前提とした議論なのかどうかと、それについてこの2カ月の間に見直しを必要とするような議論はなかったかについて説明をお願いしたい。

□事務局

- ・まずもってこの会議では、整備すべき機能を固めたうえで、その機能を満たすためには“新築が良いのか”、あるいは“改築が良いのか”といった判断をしようという前提で議論を進めていたところ。
- ・この2カ月の間でここまで機能が固まりつつあるものの、まだ、新築なのか改築なのかという点については前提として決まっているものではない。
- ・ただし、第1回会議において、既存施設の課題や委員が望まれる施設のあり方のご意見から判断するには、施設に対し“何かしらの整備が必要”ということだったため、第1回会議の中で一旦は整備の必要性の整理はできているものと事務局は認識している。

○議会選出委員

- ・色々なご意見があるが、議会として基本的な共通の認識としては、建て替えか、改築かで議論が進められてきているので、その点は検討委員会の今までの議論として良いかと思っている。

○委員

- ・建て直すかどうかという判断については、最初に意見書に書いたとおり、今の状態の施設を改築して

- も、また新たに腐食したようなところも出てくるだろうし、思いのほかの金もかかる可能性がある。
- ・ ということで、新築の建て直しを、基礎も抜かないような木造建築でいきたいと思いますという話を私はしたと思う。だから、全くのゼロベースとは言いながらもその考えでいた。まだ建て直しをどうするかという議論が残っているととなると委員間の意見もバラバラになってまとまらない。

○委員長

- ・ 先ほど事務局からも説明があったが、ハードの話は最初から決めて議論に入ったということではなく、勿論、初めに皆様からのご意見は聞いているが、機能面から絞り込むということで会議でもお話しした。そして、前回で5つの機能に絞り込まれ、その後、議会でもご議論頂き、本日、議題の2がそれらを踏まえて、更に機能を絞り込むための議論を深めたいとして事務局が資料を準備している。
- ・ 事務局説明を聞いて、議論したうえで、ハード面の話をしたいと思うがそれでよいか。

(特段意見なし)

議題(2) 機能の検討について

□事務局

- ・ 会議資料②「機能の検討について」について説明。
(一旦、駐車場ニーズのカバー方法について資料② p 3～5 を説明)

○委員長

- ・ 特に駐車場について、この件をきちんと詰めておかなければならないが、ご意見を願います。

○委員

- ・ 文化センターの駐車場もありますが、新しく施設をつくる場合には、“自分でそれだけの設備を設ける”というのが基本。
- ・ 文化センターに駐車場の共用という意見も当然あったが、そこで催し物があるときや人出が多い場合には、文化センターの駐車場は満杯になる。
- ・ 未来創造館の計画段階では地下に35台分の駐車スペースつくる予定だったがだめになったことから、施設前の駐車場を再整備して約80台止められるようにした。つまり、地下の30台分を上を持ってきて整備したかたち。これで文化センターには駐車場を共用してないので迷惑をかけていない。

○委員長

- ・ そういう経緯があって、未来創造館建築の際には議論したうえで、予算の関係もありこの平面駐車場になったと。
- ・ それで、常にいつ来てもたくさんの車が駐車する中で、新しく施設が整備されるととなると、ここだけではいっぱいになるので、施設周辺全体でそれをカバーするというのが事務局案。

□委員

- ・委員の言うように、一つの施設で専用の駐車場を持つのが理想だと思う。
- ・何も平面的に考える必要はないと思う。今の前の駐車場は 77 台止められると数字が出ているが、3 段にすると 200 台ぐらい置ける。利用者としては、文化センター駐車場を活用するよりも随分利便性が良く、手っ取り早い方法。

○委員

- ・事務局の陸橋に屋根を付けるという話を聞いて、すごく使いやすくなると思った。
- ・ベビーカーやお年寄りの方もおり、雨の時がすごく問題があるかと思うが、文化センターもそれほど遠くないので、素敵な屋根がついていれば、雨の日も楽しく歩いてこれるという面で、周辺施設も活用でき、良いじゃないか。

○委員

- ・実際このように文化センターも使いながら台数を確保する、あるいはご意見のように 2 段、3 段にしたり、ということになっていくが、景観なども考えるとどうなのかなと。例えば市役所第 2 駐車場をどうにかするとかそういう風にしていかないと。
- ・事務局が考えてくれているような 200 台の確保、そしてアプローチの仕方など色んな身体障がい者、高齢者に向けたフォローもできるかと思っている。

○委員

- ・わざわざ既存レストハウス敷地に何かを造って、それを更に広い駐車場を造る必要があるのかと思う。
- ・機能も見えてきて、活用するための条件も見えてくる中で、3 階建や景観を少し壊したり、また、新しい道を造ったりなど必要ないのでは。
- ・我々の世代がこの 20～30 年後、平戸の人口が 3 万 3 千人から 1 万人台に入っていく中では、施設を全部管理しなければならない。誰がその経費を払うのかというと我々の子供がずっと払わなくてはいけなくて、そこまで考えていくとこれはちょっとあんまりじゃないかなと心配。
- ・文化センターの駐車場はすぐそこにあるため、それでいいんじゃないかと。

○委員長

- ・ニーズに対する必要な駐車場を確保するというのが議論の前提なわけですがけれども、その対応方法として、議論としては大きく 2 つ方向が出ているかと思う。
- ・一つは、利便性を確保したうえで必要な駐車台数を確保しようとする、立体駐車場をつくるほうが一番合理的だというご意見。そしてそこまでお金をかけて合理性を追求するよりも、将来の維持管理コストを配慮すると、少し利用者にとっては負担がかかるが、視野を広げて既存の駐車場スペースを平面で使うことで安く必要なニーズをカバーするということを考えたほうがよいとのことだがこういう整理でよろしいか。

○委員

- ・この件については、図書館をつくるときも議論したが、現実的に GW や様々な観光シーズン、高校生

修学旅行などの大型バスが来たとき、また、会議室や図書館の利用者数が多くある場合、朝の9時からいっぱいから満車になると指摘していた。現実、そうっており、結局、観光客が追い出される。

- ・例えば、文化センターの駐車スペースを利用するとしても、現実的には文化センターに駐車する人は誰もいないと思う。市民など誰でも、一番近いところに止めようとするから、未来創造館前駐車場に來たいとする。だから、限りなく施設の近くで駐車スペースを確保するという論議をした。
- ・文化センターの駐車場を使うことは現実的でないと思う。

○委員

- ・駐車場を改めて2段や3段にする必要はないと思う。実際、駐車場をつくるのは厳しい。
- ・アプローチ改修しても市民は未来創造館前駐車場に止める。私でもそうする。しかし、もし満車になった時にどうすればいいんだというお客さんは絶対いるので、その人に対して、“ここにも駐車場あります”、“雨降っても、屋根が付いているので来れます”という風に考え方を変えてもいい。

○委員

- ・平面的なことではなくて、立体的なものも考慮したらどうかということを言っている。何も3階にするということではない。例えば社会福祉協議会周辺であれば上の未来創造館駐車場と並びが一緒なので、そんな景観が壊れることもないので50～60台は止められる。

○委員

- ・駐車場問題はこうなるものと思っていた。けれども、今の文化センター駐車場活用を中心的に考え、まず建物を建ててみて、今後どういう状況になるのか、どうしてもスペースが足らなくなるのか、そういった結果をもって、再度、駐車場については課題としてまた別会議で検討が良いかと。
- ・“駐車場はどうしてもつくれ”という議論で言っても切りがない。

○委員長

- ・議論は尽きないが、なかなか結論まで簡単に出ないかと思う。
- ・それにしても、機能をどうするのかということ。駐車場の位置関係は相当、利用者像によって変わってくる。まず、もう少し機能を詰めていって、それによって誘発される新規の利用者像がどういう年齢層、性別の方が利用者像として想定できるのか、それによって、駐車場の対応を絞り込んでいくというのがより合理的かと。
- ・一応、事務局の説明に対してご理解は頂けたようで、次に「機能の絞り込み」で、もう少し絞り込んでいきたいと思う。

□事務局

- ・会議資料②「機能の検討について」について説明。
(一旦、観光協会の取り扱いについて資料②p6を説明)

○委員

- ・観光協会というのは、観光客だけを相手にして仕事をしているのではなくて、仕事の大きいところでは、市の観光商工物産関係と連携している仕事はかなり多いと思う。
- ・市のアンテナショップや物産市なんかに、出ることも数多いかと思うので、そういったことから考えても市役所に近い位置のこの場所にいてもらったほうがいいんじゃないか。

○委員

- ・一つ心配しているのが、将来の経済状況というかこの建物からどういう風にコストを緩和できるのか、それは観光協会が入ることで、家賃などをもらって、それを管理に使えるのではないかと思う。
- ・同時に既存の場所にある必要はないとも思うので、逆に商店街の方へいく良いチャンス。
- ・大橋のところまで引っ越す意味がよく私には理解できないのでそこだけは賛成ではない。

○委員長

- ・前提として、議員意見に大橋管理事務所というのが出ているが、これは何か理由があるのか。

□事務局

- ・観光協会が入れるであろうスペースがある施設の例として、この管理事務所が挙げられたのではないのかという印象。

○委員

- ・観光協会をレストハウスにおくか、おかないかは別として、事務所スペースは管理人だけのスペースでなく、20～30 年を見込んだ形態で事務所のスペースをとっておかなければ将来的に対応できないと思われる。そこに観光協会が入るかどうかは別としてだが、これはぜひ議論の対象としてほしい。
- ・観光協会を入れるのか入れないのかは、この議論の中ではまだ決められない。これは議会、行政に議論して頂いて結構ではなかろうか。

○委員

- ・この議論の進め方について、観光協会が入るか入らないかで全然変わってくるんじゃないのか。
- ・希望としては、両方できないかというのが第一。今までの機能で観光協会がいたことの役割というのは十分あると思う。
- ・この施設の位置が市民の皆さんにとっても非常に大事だということはわかるが、観光客にとっても年間3万2千人入って、お城にも多くの観光客が寄られている。そんなところが他に平戸市内にどこにあるのか。
- ・一つの観光的要素からすれば、お客様目線で考えると既存レストハウスの位置が一番便利が良い場所か議論すべきだとも思う。
- ・だから、“観光協会が入った場合は、建物がこれだけ小さくなるからカフェもできない、何もできない”という議論と“観光協会が出ていったら、このとおりになる”という方向性が決まらないことには、基本的なことは全然進まないと思う。

□事務局

- ・会議資料②「機能の検討について」について説明。
(機能の絞り込みについて資料②p7を説明)
- ・参考資料①「丹澤委員意見」について説明

○委員

- ・多目的スペースについて、文化センターを、“使え”というのはそのとおりだが、文化センターは演技を発表したり、会議したりする場所であって、何かを展示等して、皆さんが喜ぶような施設ではない。レストハウスだったら、図書館や会議にきたりして、たくさんの市民がおり、駐車場も前にあり利用しやすいと思う。
- ・そして希望スペースとしては、木造の平屋を一番望んでいます。2階建にする必要はないと思う。敷地一杯にとればいいわけで、狭いからとこだわらないで、広く体育館のようなものを作ればいいじゃないか。安くつくればよい。

○委員

- ・実際前回会議から施設像をイメージしているが、今の建物のサイズに対し大きく分けて4つの機能、全部は入りきらないと私は思っている。
- ・それで色々考え、私なりに面白いものを見つけたので、印刷してきた資料を皆さんに配布しても良いか。

(委員の資料配布)

- ・コンビニは公共施設と組んでやっているところがある。色々調べていたら、店舗によってはイスやテーブルがあって飲食ができるスペースもある。
- ・4機能全部を網羅しているわけではないが、コンビニという1つのコンテンツを使って機能をまとめていってもいいのではないか。HNKとの整合性もとれる。
- ・観光の面でも何か目玉をつくらなければならないので、“日本初の観光と組んだ〜”的な名称をつけて、ハード面も一般的な箱型のコンビニにせず、この場所にコンビニがあるのもおもしろいのではないか。こういう施設の整備方向もあるんじゃないかということで私からのご提案。

○委員長

- ・これは何に対する提案ということでよいか。

○委員

- ・現在、機能が4項目挙がっている。この中で「多目的スペース」は入るかどうかは今後のことだが、カフェや子供の遊べるスペースや御土産や特産品販売などを含めたらコンビニにまとまる。
- ・コンビニのサイズで考えると、施設規模も大分小さくなるし、空いているスペースに遊び場をつくったりできるんじゃないか。

- ・資料にはバリアフリーというものも書いてあるが、そういう観点もしっかりできており、うまくコンビニ業者と調整すれば、様々な企画を出てくるかと思う。そういったことも含めて提案させて頂いた。

□事務局

- ・委員がご提案されているのは、所謂、カフェや子供の遊び場というのは、よくコンビニにあるWiFiが付いて、電源もありちょっとしたPC作業ができるイートインスペースを拡大したような感じで、居心地の良いような空間をつくるようなイメージで、そのすぐ脇にコンビニの販売系があるというイメージでよろしいか。

○委員

- ・そのイメージ。コンビニのイートインスペースに机やイスがあり、観光の案内も置いてある…1人常駐して案内もできる、平戸城に行って、くたくたになった人がゆっくり休憩できるような環境。

○委員

- ・個人的な意見だが、そういったイメージも良いかと思う。武雄の図書館などもスタバを入れてあのようなかたちで活用がある。
- ・4つの機能をイメージした時に、どういう風に上手に施設に入れ込むのなかなか難しいと思う。
- ・“絞り込み”というかたちではあるが、実際、みんなで現場を見ることで、また色々な意見も出てくるし、その中で議論することが私は意見の位置が近まるのかと考える。
- ・子供の遊び場の件で、議員の意見において北公跡地に公園ができるから同じようなものをつくる必要はないということではありますけれども、ニーズ調査を踏まえても「子供の遊び場」という意見は多かったのではないかな。レストハウスの中につくるということになると、従来の公園というイメージではなくして、例えば湯快リゾート蘭風を見たが、あのような感じであれば子供も親も安心して遊べし、レストハウスに置き換えて考えた時に、図書館を利用しながらの子供もゆっくり遊べる環境というのはこういうことなんだと思った。「子供の遊び場」というのは個人的には必要かと思っている。

○委員

- ・今回初めて委員よりご提案があり、これはおもしろそうだった。全部の機能を入れるのは確かに大変だが。
- ・イメージでは、具体的に外国ではウェアハウス、倉庫のおしゃれな感じではないですけども、そこに、今日はギャラリー的な催し、今日は…第～曜日、土日は物販などをメインに行うとか。
- ・常にその機能がそこにあるのではなくて、様々な日、曜日、季節に合わせて、機能がちょっと変化するようなイメージでもっといろいろ活用できたら良いかとも思う。

○委員

- ・機能の絞り込みは、私はある程度“器（うつわ）”が決まった中での議論でないと。カフェや子供の遊び場など、どれだけのスペースが必要なのか、観光協会の件もだが、やはり全体的な器の広さを決めて、そこから考えていかないと絞り込めないものもあるだろうし、“この器であれば絞りこむ必要が

ある”という判断もあると思う。今は施設の全体スペースが見えないが、そこは事務局はどう考えるか。

□事務局

- ・委員が言われている内容は十分理解できる。そのように器を元に機能を取捨選択する方向性もありえるかとも思うが、改めて委員皆様に思い出して頂きたい。
- ・既存周辺施設の利活用について、今挙げられている機能が他の公共施設、類似する施設において、スペースあるいは機能が重なっているものがないのか、やはり考え直して頂けないものかと思う。
- ・つまり、器の話しに入るのは早い。その前段で機能の必要性、代替性を確実に踏まえた後に器の話しが出てくると事務局は考えている。

○委員

- ・事務局が私の考えがわかると言ったように私も事務局の考えはわかる。
- ・しかし、基本的に絞り込みという問題がなければ、今のような議論で問題ないと思うが、新しい施設ではある程度の制約があるだろう。
- ・事務局と私、どちらの言っていることが先なのか決めることはできないが。

○委員

- ・機能の必要性の有無とすると、カフェも平戸にあるのではないか。
- ・「子供の遊び場」も蘭風で遊べる。それが有料じゃないところがあるのもいいのかと思いながらも、土産物、物産販売は必ずしも観光協会がしなくてもよいし、私もこの場所に必ずあるべきということを感じていない。まち中で十分。
- ・多目的スペースは、隣に文化センターがあるし、そういったところを考えると本当は必要ないのじゃないか。

○委員

- ・今の委員の意見を聞いてびっくりしている。これまで議論してきてそんな話しがあるのかと。
- ・私はこれまでで4機能が出ているので、これで良いと思っている。後は、トイレや機械室の配置も踏まえて、“これだけのスペースが必要”ということを事務局から提示頂き、図面上で、機能規模を決めたり、そういう調整を議論する段階。そういう姿絵をもって、事務局が提案し、調整していく格好が良いと思う。

○委員

- ・観光客向けに重きを置くものか、市民向けに置くものかも条件は決まっている。ある程度この流れでの施設のキャパの中で絞り込みをかけていけないかと思っている。

○委員

- ・カフェというのは、“店舗”というほどのものはいらないのかなと。自動販売機を持ち込んでスペース

を抑えることもできる。御土産販売に関しても、少し縮小して良いのかと。

- ・多目的スペースについても、隣に図書館がある。縮小するとなると、会議室とか土産屋。カフェ関係は、広場全体が賑やかなスペースでつくって頂きたい。

○委員

- ・御土産販売とカフェを合併し、観光協会に任せてはどうかと思う。カフェを含んだ売店と言えればそれで一つのコーナーになり、テーブルや、すぐ横に子供が遊べるスペースがあれば。
- ・エントランススペースで、展示や催しできるぐらいのスペースがあれば、わりと絞りできるのかなと思う。

○委員長

- ・意見を集約する。まず、ここに必要なニーズは何だという話から様々な利用者像を背景として、ニーズが語られて、それに基づいて機能の絞り込みが行われてきた。
- ・観光協会の取り扱いだが、これについては決まっていない。
- ・いずれにしても、ここに市民サイドから必要な機能というのは、挙げられている4機能。それをどうやってコンパクトにまとめるかということが今回の委員会に与えられた課題。
- ・それを踏まえて、委員からはコンビニの拡大系について提案がなされ、他の委員からもそれを支持するご意見も出された。
- ・駐車場の件についても、ハード面で利便性を重視し整備すべきという意見と周辺駐車場を有効活用して、コストを低減するかたちが事務局より提案されているが、こういう議論をするうえでの一般的な展開の仕方というのはいくつかある。最大限コストを下げる方法と、コストを二の次にして、最大限ニーズに沿う方向というパターンを描いてみて、それをもとにして議論するというのが一般的だが、そういうことを事務局はできるか。

□事務局

- ・本日の議論で色々な意見が出た。それに対応して、その概要をコストも含めて目に見えるかたちにし比較できるような資料をつくるまでもっていくとなると、一定の時間と観光協会等との様々な調整も出てくる。また、議会側への報告等も出てくる。そうした時に、資料を1枚配布するのでご覧頂きたい。

（資料「検討委員会の報告書（検討結果）とりまとめ（案）」を配布）

- ・本日の機能の絞り込みがどういう状況になるか、事務局も予想し難い状況ではあったが、“複数案”パターンが出てくるという想定もしていた。
- ・そうした際に、これまではこの委員会の中で最後までご議論頂き、その結果を一括して市長に報告するものとしていたが、現在、熟度の高い議論が進んでいる中で、本日更には様々なパターンも出てきた。
- ・今後、資料作成の必要性に加え、市の判断も必要になってくるかと思うので、報告書を1本で上げる

のではなくて、例えば2部構成にして、これまでの検討結果をまとめた「中間報告」を作成し、一旦、市長への報告をしてはどうかと考える。

- ・ 中間報告後は、市として複数パターンを検討するための資料づくりや、あるいは関係機関との調整を図っていく。そして、その結果をもとに、検討委員会を開催し、委員会としての方向性を選んでもらい、新築・改修、または設計業者の選定など、この先のハード面に係る検討について方針をとりまとめていき、最終報告に繋げていくという2部構成の流れを考えたがいかがか。

○委員長

- ・ 今の事務局の提案に対し、ご意見、ご質問はないか。(→特段意見なし)

(3) 次回委員会での協議内容確認

□事務局

- ・ 補足すると、本日までに頂いた意見を中間報告書(案)としてまとめ、第5回目の検討委員会において中間報告書の中身を委員に確認頂き、了承がとれたら中間報告をさせて頂くという流れ。

○委員長

- ・ 機能は絞り込まれてきているが、ハード面での範囲は相当幅のある議論であったと思う。本当に0～100までのような話しだったが、恐らく最終的な着地点はその間のどこかにあると思う。とりあえず、本日出たような意見、複数パターンのイメージを簡単に整理し、それを中間報告とするということ。
- ・ ありのままで幅のある議論は“ここまで”というところで、“この先に着地点はある”ということを示す中間報告になろうかと思うがいかがか。

※複数委員より異議なしの声あり

□事務局

- ・ 勿論、観光協会の存続、移転といった大きなバージョン分けした中での内容になろうかと思う。
- ・ また、コンビニ案が提案されたところで、事務局としても確かにおもしろいと思うし、皆様から個別具体的に頂いた部分を調整して検討委員会の報告案とする。

○委員

- ・ 私が会議に参加できたのは今回3回目。考えが変わってきた。
- ・ 機能が見えてきた状態で考えると、つくらなくてもよいかと個人的には思ってきた。
- ・ つくらないという案も含むかたちで中間報告に入れていただけないか。

○委員長

- ・ 整備すべき機能はニーズがあるものと議論してきた。
- ・ ご意見のつくらなくて良いというのは、ハードは既存利用として、これらの機能を今ある施設の中で代替できる方向もあるということか。あるいは、新たな機能は一切ここに取り入れれないということか。

○委員

- ・建物自体いらなかと。

○委員長

- ・その議論は、建物自体を解いても、現有の床の中で機能は収めることができるという考え方か。または機能もいないということか。

○委員

- ・ゼロという考え。レストハウスを公園にする。観光協会や検討委員会が出された機能を批判はしていない。
- ・つくらなくなって浮く予算を使って商店街や今ある場所を活用した方が良いと思う。
- ・あまりこれまで言ってこなかったが、他施設を改修して、更に気持ちよく使えるようにするなど、そういった予算の使い方が良い。

○委員長

- ・これまでの議論の積み重ねがある。ゼロ案も入れ込こもうというのは疑問。検討委員会に与えられた使命がある。
- ・最終的に予算を決定するのは議会。そういった過程があり、この委員会に与えられた使命を踏まえると、最終的な議会の判断があるにも関わらず“ゼロもある”というのは飛躍しすぎだと思う。

○委員

- ・わかった。

3. 閉会